

JASRACコンサート

少年少女のための音楽鑑賞会

# 音楽職人が創るステージ [八戸・三沢公演]

少年少女に生演奏のすばらしさを体験してもらうとともに、著作権制度についても知つてもらう「音楽職人が創るステージ」。東日本大震災以降は毎年被災地で開催している。今回は青森県の八戸市と三沢市で下記のとおり開催し、3公演で1,500人余りの方にご来場いただいた。

八戸公演：10月 9日(金) 八戸市公民館  
10月 10日(土) 八戸市南郷文化ホール  
三沢公演：10月 11日(日) 三沢市公会堂



開催にあたっては各県・市、および各県・市の教育委員会の後援をいただきました。

## ■演奏指導

コンサート開催前に、出演するプロの奏者による生徒への演奏指導が行われるのが、このイベントの特徴。6月に八戸市、三沢市の中学校で実施した(8月号で既報)のにつづき、11日の三沢公演の本番前にも、同市の堀口中学校吹奏楽部の生徒たちが指導を受けた。

口の形や呼吸法など、出演するミュージシャンからの丁寧なアドバイスを生徒たちは真剣なまなざしで聞いていた。



## ■コンサート

コンサートは例年どおりモーツアルトの『フィガロの結婚』序曲で幕を開けた。『となりのトトロ』や『崖の上のポニョ』などのアニメ映画音楽メドレーでは、観客も手拍子を打ち、新たにプログラムに加わった映画「ニュー・シネマ・パラダイス」の『愛のテーマ』では、JASRAC会員でもある佐野博美さんのサックスのソロ演奏に引き込まれた。さらに、劇団四季出身の石橋ちさとさんによるミュージカル作品の歌と踊りが観客を魅了した。

演奏の合間には、出演者による楽器の解説も盛り込まれ、楽器固有の形状や構造の説明に客席は興味津々の様子だった。



休憩をはさんで行われた著作権クイズのコーナーは、チェロ奏者の結城貴弘さんの軽妙なトークとジャスラのコミカルな動きで会場が和んだ。

CDの複製やインターネットでの音楽利用に関するクイズの正解率は高く、来場者の著作権への関心の高さがうかがえた。

つづいて、絵本「ひ・み・つ」(作：たばたせいいち)の朗読は佐野啓子さん。生演奏の伴奏が付いた感動的な物語に客席では涙ぐむ方も。

コンサートの最後はアニメ音楽メドレー。子どもたちにもなじみの深い「アンパンマン」や「ドラえもん」などのテーマを会場全体で歌い、コンサートは盛り上がりのなかで終演を迎えた。

コンサート後のアンケートでは、「演奏者の方々を参考にこれからも吹奏楽部の練習をしていきたい」(10代)、「また明日からがんばれる活力をいただきました」(30代)などの声が寄せられた。

また、このコンサートの模様は、地元のケーブルテレビ局で報道された。

### 【出演】

石橋尚子(ヴァイオリン)、押鐘貴之(ヴァイオリン)、島岡智子(ヴィオラ)、結城貴弘(チェロ)、一本茂樹(コントラバス)、高桑英世(フルート)、石橋雅一(オーボエ)、高野哲夫(ホルン)、磯崎早苗(ファゴット)、佐野博美(クラリネット・サックス)、宮本一(ピアノ)、益田和嘉子(パークッシュ)、石橋ちさと(ヴォーカル)、佐野啓子(司会・朗読)

### 【企画協力】

特定非営利活動法人RMAJ  
(Recording Musicians Association of Japan)

